

研究課題名 『ちば県民保健予防財団遺伝子診療科で実施される遺伝カウンセリング・遺伝学的検査に基づく検診・健診受診者における遺伝性疾患の実態把握』

本研究は、ちば県民保健予防財団倫理審査委員会の承認を得て、理事長の許可のもとおこなわれます。

遺伝医学の進歩は、治療法および予防法開発研究へと発展し、遺伝学的検査およびその結果に基づいてなされる診断は、疾患の治療法や予防法の適切な選択を可能にするなど、医療全域にわたって広く有効に利用される時代を迎えています。このような背景に基づき、公益財団法人ちば県民保健予防財団においても2015年10月に遺伝子診療科を新設し、活動を開始しています。

本研究は、検診・健診施設における遺伝性疾患の実態把握を目的とします。当施設の遺伝カウンセリング外来では、遺伝学的検査をご希望された場合、文書で同意を得られた方に対して、遺伝子診断を実施します。遺伝子情報の解析に際しては、個人の特定につながらないような匿名化処理をして行います。当施設における遺伝性疾患に関するデータを蓄積し、検診・健診施設における遺伝性疾患の集計を行います。

本研究の成果は、検診・健診施設における適正な遺伝医療体制を検討する基盤となり、検診・健診受診者の皆様に、より良い予防医療の機会を提供する一助となるものと期待されます。

本研究にご自身のデータが利用されることについて、ご同意いただけない場合やご不明な点につきましては、お問い合わせ下さい。

公益財団法人ちば県民保健予防財団 総合健診センター総合健診センター・診療部遺伝子診療科 診療科部長 学術顧問 野村文夫